

# 堺市立総合医療センター 小児科



## 専攻医研修の目標

Specialist を目指した Generalist としての小児科医になる。

つまり、common disease に精通し、かつ subspeciality にも通じる小児医療を習得する。

## 病院概要

病床数は 480 床、うち小児科 30 床。救急救命および集中治療病棟への小児の入院も可能。救急救命センターがあり三次救急の受け入れも行っている。小児科の年間入院数は 1400-1500 名（カルテベース）であり、地域の中核的な役割を果たしている。

## 研修の特徴

- 1) 症例数が多く、種々の疾患の診療が可能。幅広い分野での研修。
- 2) 一次から三次救急まで様々な救急疾患を診療

一次救急は隣接する堺市こども急病診療センターへ当院の指導医と出務

二次・三次は院内（小児救急および救命センターのサポートあり）

後期研修医は院内小児科常勤医と 2 人体制での当直

- 3) 乳幼児健康診査から専門分野まで幅広い研修

保健センターへ指導医と出務

## 教育

- 1) 小児科カンファレンス：1 回/週
- 2) ミニカンファレンス：2 回/日（朝と夕）
- 3) 抄読会：1 回/週
- 4) 学生・初期研修医・看護師との勉強会：1 回/週

